



FLOWER BULBS SINCE 1955

株式会社 中村農園

NAKAMURA-NOEN CO.,LTD.

〒781-0270 高知県高知市長浜 5381
5381, Nagahama, Kochi 781-0270, Japan

☎0120-874195 (ハナヨイキュウコン)

Tel. (088)841-1311 Fax. (088)841-0603

E-mail: info@nfb.co.jp URL: http://www.nfb.co.jp

お客様各位

情勢報告

2024年9月5日

株式会社中村農園

中村 慶吾

いつもお世話になっております。

2024年オランダ産の状況につきまして、ご報告申し上げます。

① 期待を込めて遅れたスケジュール

24年オランダ産の球根取引は、下記のような要因で、例年に比べ大きく遅れています。

1. 春の長雨による定植遅れ

23年産の収穫期以降、オランダでは半年以上雨天が続き、球根定植期の4月～5月も雨により植付作業が遅れました。(詳しくは情勢報告(6/14付)③もご参照下さい。)

2. 初期生育の確認を優先

23年オランダ産は雨天による定植遅れに加え、春の霜被害などで肥大が悪い年でした。24年も同様に定植が遅れたため、6-7月の生育状況を見て生産見込みを考える生産者も少なくなかったと思います。今年は南・東オランダを中心にフロスト被害がほぼない事が昨年との大きな違いで、夏の天候は適度な雨もあり良好、8月時点で圃場の多くが健全との報告が複数の輸出会社から入っており、秋の肥大に向け順調に生育しています。

3. 球根生産者がオファーを控える

昨年秋以降の長雨で、チューリップは定植遅れや加湿土壌での生育不良が著しく、収穫結果も全体で2割程の大幅ショート(地域・品種によっては70%)と言われていました。そもそも高かった取引価格は収穫期に向け2倍以上に高騰し(その価格で買えるマーケットは少ないものの)過去に経験のない球根バブルとなりました。そのため百合球根生産者も二匹目のどじょうを狙い、球根の販売を現在も控えています。比較的大規模な生産者の中にも、まだほとんど販売していない人もおり、既に高騰しているシベリアについては昨年以上に取引が停滞しています。

4. 販売球数の抑制

上記のように販売を控えるほどではないものの、面積当たりの生産見込数を低く見積も